

31 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の問一～問八に答えなさい。

問一 次のア～オの読みをそれぞれ平仮名で書きなさい。

ア 乙瑛碑 イ 曇子碑 ウ 鄭長猷造像記 エ 宸筆 オ 紙捻切

問二 次のア～オは書道に関連のある語です。それぞれの説明を簡潔に書きなさい。

ア 古筆 イ 万葉仮名 ウ 筆脈 エ 甲骨文 オ 三過折

問三 次のア～ウに答えなさい。

ア 次の図版①に書かれている字を、それぞれ常用漢字で書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

イ 次の図版②・③に書かれている字の読みを、それぞれ平仮名で書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

ウ 次の図版④・⑤のそれぞれの仮名について、その字源をそれぞれ楷書で書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問四 短冊の大きさとついて、懐紙というものを使った説明を簡潔に書きなさい。

問五 小筆の片づけ方について生徒に指導することとします。どのような内容を指導しますか。簡潔に書きなさい。

31 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問六 「書道I」の仮名の学習において、図版①・②の基本的な筆使いの学習を行うこととします。基本線の書き方について、それぞれ生徒にどのように説明しますか。簡潔に書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問七 「書道I」の漢字仮名交じりの書の学習において、文や文章を読みやすく書くために気を付けるべき点について、「文字の大きさ」「配列」「配置」の観点で、簡潔に三つ書きなさい。

問八 篆刻の学習において、生徒に見本として示す印稿を作成するものとします。語句は「太郎」とし、朱文で作成します。次の図版の字形を使って鉛筆(黒)書きで草稿を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

31 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち三)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

二 次の図版①・②について、後の問一～問三に答えなさい。

問一 図版①の書跡名、筆者名を書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問二 図版①の石碑の由来を簡潔に書きなさい。

問三 次の図版②は、虞世南の「孔子廟堂碑」の一部です。図版①と比較して、それぞれの字形、点画、運筆の特徴を簡潔に書きなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

31 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち四)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の図版は、顔真卿の「争坐位文稿」の一部です。次の図版について、後の問一～問三に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

問一 「争坐位文稿」は顔真卿の「三稿」の一つです。他の二つの書跡名を書きなさい。

問二 「争坐位文稿」は、顔真卿が郭英乂に送った手紙の草稿です。どのような内容が書かれていますか。簡潔に書きなさい。

問三 図版中の一部の文字群を選んで、画仙紙半切に意臨させることとします。次のア・イに答えなさい。

ア どの文字群を選んで指導しますか。選んだ文字群と、その構成の特徴を書きなさい。

イ どのようなことを指導しますか。書跡の背景を踏まえて書きなさい。

四 次の図版について、後の問一～問四に答えなさい。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

31 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち五)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問一 書跡名を書きなさい。

問二 図版に書かれている和歌の大意を書きなさい。

問三 この書跡には雲紙という料紙が使われています。雲紙とはどのようなものですか。簡潔に書きなさい。

問四 図版に書かれている歌を臨書学習したのち、この歌を素材として、半紙に散らし書きの創作作品を制作する学習活動を行います。生徒にどのような試みや工夫をさせる必要がありますか。簡潔に三つ書きなさい。

〔五〕 次の問一・問二に答えなさい。

問一 次の文章は、清の康有為の「広芸舟双楫」の一節です。この文章の内容を簡潔に書きなさい。

學書須專學一碑數十字。如是一年數月、臨寫千數百過、然後易一碑。

問二 次の文章は、清の朱履員の「書学捷要」の一節です。この文章の内容を簡潔に書きなさい。

問題に誤りがあったため、掲載いたしません。

なお、すべての受験者に対し、正答として扱うこととします。

〔六〕 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道Ⅱ 3 内容 A 表現 について、次の問一・問二に答えなさい。

問一 (1) 漢字仮名交じりの書イには、「名筆の鑑賞に基づき表現を工夫し、個性的に表現すること。」と示されています。「名筆の鑑賞に基づき表現を工夫」するとはどのようなことですか。具体的に書きなさい。

問二 (2) 漢字の書イ及び (3) 仮名の書イには、「古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現すること。」と示されています。「古典に基づく表現を工夫」するとはどのようなことですか。具体的に書きなさい。

高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(六枚のうち六)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

七

「書道Ⅱ」の授業において、「青龍」「白虎」「朱雀」「玄武」の語から一つを選び、古典に基づいた漢字創作の指導を行うこととします。次の表にある生徒の状況を踏まえて、「書への関心・意欲・態度」「書表現の構想と工夫」の二観点によるワークシートを作成することとします。「書への関心・意欲・態度」の観点については、解答用紙に示された設問に対する模範解答を書きなさい。また、「書表現の構想と工夫」の観点については、設問及び設問に対する模範解答をそれぞれ三つ書きなさい。

生徒の状況

- ・「書道Ⅰ」において、創作の授業は経験している。また、「書道Ⅰ」及び「書道Ⅱ」のこれまでの授業で、漢字の五書体の学習を終えている。
- ・生徒は、臨書等提示された手本による学習は、容易に受け入れる。しかし、自らの発想、創造、工夫による表現については、作業が進みづらい生徒もいる。
- ・生徒は、楷書及び行書の臨書学習においては、概ね満足できる状況にある生徒は、比較的多くいるが、その他の書体においては、用筆法を中心として満足できる水準に達しない生徒もいる。

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(四枚のうち二)

受験番号	
氏名	

二				一					問題番号	
問三	問二	問一		問八	問七		問六			
		筆者名	書跡名		配置	配列	文字の大きさ	②	①	解答欄

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(四枚のうち三)

受験番号	
氏名	

六	五		四				三			問題 番号
問一	問二	問一	問四			問三	問二	問一	解答 欄	
							イ	ア		
								構 成 の 特 徴	選 ん だ 文 字 群	

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(四枚のうち四)

受験番号

氏名

<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">七</div>						六	問題 番号
						問二	
書表現の構想と工夫				書への関心・意欲・態度		解答欄	
模範解答	設問	模範解答	設問	模範解答	設問 選んだ語と、選んだ理由を書きましよう。		